

高台だより

H24年4月号
No.318
発行責任者 栗原千秋
会員324世帯 全371世帯
ホームページは taka-dai.info
自治会設立 昭和61年4月
手をつなごう 高台自治会で

自治会総会終わり新体制

新事業・予算など決まる

4月14日第7回高台自治会総会が、さくら会館で開かれ、会長・常任委員・ブロック委員などの人事、予算や新年度事業などが承認決議されました。総会への出席者71人委任状提出202人計273人で、自治会役員324人の84%で総会が成立したことが確認されました。

▼1号議案から5号議案が順に審議され、1号議案の平成23年度の環境・防犯防災・美化衛生・福祉・スポレク・広報・集会所などの各事業実績が報告され承認されました。とくに自治会創立25周年記念事業や「エコ」工事への環境対応などを説明しました。

▼2号議案では、事業収支報告と監査報告がなされ承認されました。

▼3号議案では、ブロック委員21名、常任委員13名が承認され、その後常任委員の互選で会長選出に入り、3Bの栗原千秋さんが会長に再選され承認されました。

▼4号議案では、各部会の新年度の事業が説明され承認されました。特に今年度は、バスツアーが予定され、夏まつりや市民運動会参加は検討となりました。

部会等報告

【広報】

「お隣さんの独り言」で紹介した皆さんは、これまでで26人となり、全てを高台ホームページからご覧になれます。(プロフィールは右記)



▼5号議案では、総額70万円余りの24年度予算が承認されました。

▼質疑要望としては、「高齢化がすすむ住民への十分な対応」「災害時などのための住民の結束」などがありました。

▼また委任状の中の意見欄には「11月出しのマネーを守ってほしい」「生涯学習に歴史の会をいれてほしい」などがありました。また今年度の夏祭りの開催について特別にお聞きしましたが、賛否相半ばでした。集計後検討し方針を決めたいと思います。

総会のあと、新しいブロック委員と常任委員による第1回目の役員会が開催されました。総会の議案書は、高台ホームページ(<http://www.taka-dai.info/>)でもご覧いただけます。



【防犯・防災】

先月14日の3丁目東すく(四中南)の竹藪の倉庫で火事がありました。幸いボヤ程度で済みましたが風向き次第では住宅への延焼も免れませんでした。出火原因は不明とのこと。長岡天神駅東側の飲食店で住宅火災があったばかりで、火の元に十分に注意したい。



なお長岡市内の住宅火災は、年平均十数件起きており、原因別では放火20%、たばこ20%、コンロ15%です。また火災の際、3丁目付近の駐車車両のため、消防車の通行に支障がありました。迷惑駐車している人は、軽自動車も含め近くの駐車場を借りておくべきです。

24年度新体制

次の24年度の人事が決まりました。

【役員】



- 会長 (代表・総括) 栗原千秋(2丁目)
- 副会長(補佐・総括) 梶 晴雄(3丁目)
- 会計(出納・予算管理) 石見 隆(2丁目)
- 庶務(事務・資料作成) 中西弘治(2丁目)

【専門部会幹事】

- 13名の常任委員から
- 「環境」「防犯防災」「美化衛生」「福祉」「スポレク」「広報」などの専門部会幹事(リーダー)が選任され、また「集会所」「監事(監査)」などの幹事も決まりました。

【ブロック委員】

21名までのブロック委員は既に選任され、前号でお知らせしています。ブロック委員は資料配布や回収を担当しまた相談などの窓口となっております。その他、外部団体委員、自治防災組織の各担当なども決まりました。新役員に協力をお願いいたします。

高台さくら三態

3号公園で4月8日2年ぶりの「高台さくら祭り」が行われました。快晴の空にほぼ満開の桜が映えるなか、30名の参加がありました。ビール・肴に、酒類・寿司・たこ焼き・善哉の差し入れもあり、情報交換・政治談議・歴史談義に親睦を深めました。



5号公園の自治会創立25周年記念植樹の平安枝垂れ桜が、小さい樹一杯に濃いピンクの八重の花をつけました。まだこの下でお花見とまではいきませんが他の公園の染井吉野と違った花をつけるこの樹の成長を見守りたいと思います。



2号公園のさくらも満開を迎えました。さくらには「咲くときと散るとき」の二つの命があるといわれます。落花の雪となってその花びらを散らす、たまゆらの儚倅を楽しみたいと思います。



会長就任挨拶

このたびは会長に就任した栗原千秋です。今回4年目に入ります。私は常々永く担当するのはマンネリにもなり好ましくないと感じてお受けするつもりでしたが、申し出があればいつでも交代したい気持ちです。

さて昨年度は自治会創立25周年目を迎え、さくらやかな記念行事を行いました。今年度は50周年に向けて新たなスタートを切る年になります。

このころは昨今は近所付き合いが疎遠になったといわれる一方で、想定外の大災害も頻発しています。

高齢化が進む高台で災害が発生したことを思うと不安が募ります。大災害が起こった時には行政に頼ることはできなく数日間自分たちで自分たちの身を守るしかありません。その時は住民同士の助け合いが何よりも必要です。東北震災でも地域の結束度合いにより、対応に大きな差があったように聞いています。大災害を身近なことで捉え、「遠い親戚の近くの他人」です。「向い二軒西隣」で良好な関係を築き、いざという時に備えたいものです。自治会としても協力をあおみせ

ん。1年間精一杯努めさせて頂きます。「指導」を手援もしくお願いたします。

オハナシの独り言

4丁目 大橋輝子さん



6年前夫の転勤で京都に引っ越すことになりました。当時浜松(静岡)で長男は高校に入学したばかり、長女は中学2年生で、高校・中学の転校は心配や戸惑うことばかりでした。塾や教育委員会から、長岡四中と西乙訓高校なら落ち着いた環境でお世話になれるのではないかとアドバイスをいただきました。学校に安心して通え、公園もあり環境もよい高台がよいと決心しました。

引っ越しの当日がちょうど4号公園の夏まつりの日でした。荷物を運んでいた私たちに、早速役員の方から「よかったです見に来て下さいね」と優しく声をかけていただき、ここに決めてよかったと感じました。また両学校とも転校生の子どもたちを快く受け入れてくださり、楽しい思い出を作りました。

我が家は転勤族で大阪→津→浜松→京都と引っ越し・転校を重ねてきました。津では近所に梨畑があり、松坂牛のお店もたくさんありました。子どもたちは、カブトムシをとったり、川遊びをしたりと自然の中で育ちました。浜松では家の前に佐鳴湖があり、風光明媚な環境で子どもたちも部活やマラソン大会で湖の遊歩道まで歩いていました。鰻の白焼きやみかんはさすがに美味しく楽しめました。音楽の街でもあり、中学校の合唱コンクールは、浜松駅前の本格的なホールで行われたこともあります。

どの土地に行っても人と美味しいものに恵まれ、別れの辛さと出会いの喜びを感じてきたように思います。今は長岡京での落ち着いた生活を楽しみつつ、第二・第三の故郷があることに感謝しています。

会員動向

- 〈入会〉
- 2B 金ヶ原原由(8・23) 松阪泰英さん
- 2B 下田由喜(音階)4・8 前田和清さん
- 7B 2・1・3・9 保科治彦さん
- 〈訃報〉
- 10B 米澤女子さん(享年82才)